



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 太陽工機

コード番号 6164 URL <http://www.taivokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	3,523	47.6	500	210.7	487	232.8	310	250.2
27年3月期第2四半期	2,386	16.4	161	235.7	146	467.0	88	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	105.83	—
27年3月期第2四半期	30.24	30.22

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	4,768	3,150	66.1
27年3月期	4,616	2,875	62.3

(参考)自己資本 27年12月期第2四半期 3,150百万円 27年3月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年12月期	0.00	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	—	870	—	850	—	550	—	187.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年12月期は決算期変更の経過期間となることから、通期の対前期増減率につきましては記載しておりません。

なお、平成27年1月1日～12月31日の12ヶ月とした場合の業績予想は、売上高7,930百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,270百万円、当期純利益810百万円、1株当たり当期純利益275円67銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	2,978,200 株	27年3月期	2,978,200 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	39,931 株	27年3月期	39,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	2,938,315 株	27年3月期2Q	2,935,910 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績（平成27年4月1日から9月30日まで）が前年同期比で0.7%減少し、中国等の海外経済の減速が懸念されるものの、国内を中心に受注は堅調に推移いたしました。

こうした状況の中、当社の受注状況も国内を中心に好調となっており、受注額は前年同期を上回る水準で推移しております。国内においては、自動車部品関連企業や産業機械関連企業、工作機械関連企業から、多数の複数台受注を獲得しており、今後も堅調に推移すると見込まれます。海外においても、中国や韓国をはじめとしたアジア、米州、欧州等の幅広い地域で現地ユーザーからの新規受注が順調に増加してきております。

営業施策としては、本社工場を利用したプライベートショーやDMG森精機主催のプライベートショーに出展することで、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起し、受注の増加につなげてまいりました。

製品面では、6月に自動車部品のミッションギア等の量産加工をターゲットとした超生産型の小型立形研削盤「PGV-3」を発表いたしました。本製品は生産性を格段に高めるシステムを搭載するとともに省スペース化を実現しており、発表直後からお客様に高い評価をいただき、受注も順調に増加しております。

また昨年発表した中・大型部品加工用の立形研削盤「CVG」シリーズのラインナップの拡充に向け、「CVG-6」の開発に注力いたしました。

当第2四半期累計期間の受注高は4,245,327千円（前年同期比34.9%増）となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は3,230,051千円（前年同期比65.6%増）、横形研削盤は886,975千円（前年同期比1.8%減）、その他専用研削盤は128,300千円（前年同期比56.4%減）となりました。

生産高は3,309,331千円（前年同期比52.4%増）となりました。うち立形研削盤は2,533,808千円（前年同期比66.3%増）、横形研削盤は516,012千円（前年同期比8.8%増）、その他専用研削盤は259,511千円（前年同期比49.6%増）となりました。

売上高につきましては、3,523,878千円（前年同期比47.6%増）となりました。品目別に示すと、立形研削盤は2,649,594千円（前年同期比57.4%増）、横形研削盤は580,287千円（前年同期比14.9%増）、その他専用研削盤は293,997千円（前年同期比47.8%増）となりました。

損益につきましては、営業利益500,796千円（前年同期比210.7%増）、経常利益487,663千円（前年同期比232.8%増）、四半期純利益310,956千円（前年同期比250.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて14,167千円増加し、3,391,956千円となりました。これは主に製品が28,011千円、仕掛品が260,090千円、原材料及び貯蔵品が28,043千円増加したこと、現金及び預金が156,664千円、売掛金が154,656千円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて138,342千円増加し、1,376,766千円となりました。これは主に有形固定資産が130,473千円、無形固定資産7,685千円が増加したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて94,405千円減少し、957,132千円となりました。これは主に買掛金が59,135千円、未払法人税等が120,839千円減少したこと、製品保証引当金が6,832千円、役員賞与引当金が13,284千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて28,656千円減少し、660,627千円となりました。これは主にリース債務が26,674千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて275,572千円増加し、3,150,964千円となりました。これは主に利益剰余金が275,696千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて156,664千円減少し、278,694千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は39,588千円の増加(前年同期は189,435千円の増加)となりました。これは主に税引前四半期純利益487,663千円の計上、減価償却費48,500千円、役員賞与引当金の増加13,284千円、製品保証引当金の増加6,832千円、売上債権の減少154,656千円、未払費用の増加85,720千円の資金増加要因と、たな卸資産の増加316,145千円、仕入債務の減少59,135千円、利息の支払11,363千円、法人税等の支払296,238千円の資金減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は131,002千円の減少(前年同期は10,737千円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得130,931千円の資金減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は65,249千円の減少(前年同期は113,551千円の減少)となりました。これは主にリース債務の返済29,730千円、配当金の支払35,395千円の資金減少要因によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の業績予想につきましては、平成27年8月7日発表の「平成27年12月期第1四半期決算短信(非連結)」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	435,358	278,694
売掛金	1,611,321	1,456,664
製品	-	28,011
仕掛品	994,860	1,254,950
原材料及び貯蔵品	222,301	250,344
繰延税金資産	97,568	96,433
その他	17,379	27,858
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	3,377,789	3,391,956
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	699,648	681,221
土地	354,269	354,269
その他(純額)	102,632	251,533
有形固定資産合計	1,156,550	1,287,024
無形固定資産	3,838	11,523
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,786	3,392
その他	74,248	74,826
投資その他の資産合計	78,035	78,218
固定資産合計	1,238,424	1,376,766
資産合計	4,616,213	4,768,723
負債の部		
流動負債		
買掛金	375,182	316,047
未払法人税等	303,254	182,415
製品保証引当金	62,405	69,237
役員賞与引当金	19,227	32,511
その他	291,467	356,920
流動負債合計	1,051,537	957,132
固定負債		
リース債務	652,365	625,690
その他	36,918	34,936
固定負債合計	689,284	660,627
負債合計	1,740,821	1,617,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	472,960	472,960
利益剰余金	1,735,696	2,011,393
自己株式	△33,594	△33,718
株主資本合計	2,875,391	3,150,964
純資産合計	2,875,391	3,150,964
負債純資産合計	4,616,213	4,768,723

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,386,794	3,523,878
売上原価	1,676,504	2,435,784
売上総利益	710,290	1,088,094
販売費及び一般管理費	549,132	587,297
営業利益	161,157	500,796
営業外収益		
受取利息	38	70
受取手数料	817	473
受取保険金	1,528	263
受取賃貸料	1,200	1,200
その他	727	769
営業外収益合計	4,311	2,776
営業外費用		
支払利息	13,147	11,363
売上割引	1,219	1,431
支払手数料	538	648
その他	4,050	2,466
営業外費用合計	18,956	15,909
経常利益	146,513	487,663
特別利益		
新株予約権戻入益	8,942	-
特別利益合計	8,942	-
特別損失		
固定資産除却損	1,549	-
特別損失合計	1,549	-
税引前四半期純利益	153,905	487,663
法人税、住民税及び事業税	62,041	175,176
法人税等調整額	3,069	1,529
法人税等合計	65,111	176,706
四半期純利益	88,794	310,956

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	153,905	487,663
減価償却費	42,049	48,500
固定資産除却損	1,549	-
受取利息	△38	△70
支払利息	13,147	11,363
新株予約権戻入益	△8,942	-
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,284	13,284
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2,497	6,832
売上債権の増減額(△は増加)	△42,309	154,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	△69,026	△316,145
仕入債務の増減額(△は減少)	80,128	△59,135
未払金の増減額(△は減少)	△1,487	6,537
未払費用の増減額(△は減少)	4,252	85,720
その他	50,322	△92,087
小計	220,765	347,119
利息の受取額	38	70
利息の支払額	△13,123	△11,363
法人税等の支払額	△18,245	△296,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	189,435	39,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,985	△130,931
無形固定資産の取得による支出	-	△300
その他	△6,752	228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,737	△131,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△60,000	-
自己株式の処分による収入	4,050	-
自己株式の取得による支出	-	△124
リース債務の返済による支出	△28,332	△29,730
配当金の支払額	△29,269	△35,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,551	△65,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65,146	△156,664
現金及び現金同等物の期首残高	107,751	435,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	172,897	278,694

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。